

はじめに

- (1) 経済と政治が「車の両輪」となって諸課題の解決に取り組むことが不可欠
- (2) しかし政治の不安定化・停滞により政策の適時・適切な遂行に支障
- (3) かかる観点から、政治に対し提言するとともに経済界としての行動を表明

1. 現状認識：危機に直面する日本

- (1) 内外に重大な課題が山積し内憂外患の状況
(震災復興、デフレ脱却、成長力強化、財政・社会保障改革、エネルギー政策、外交安全保障政策等)
- (2) 危機からの脱却に向け強力な政治のリーダーシップが必要

2. 日本政治の状況：問題解決能力の低下

- (1) ポピュリズムの政治の傾向が顕著
- (2) 衆参両院のねじれにより、迅速な政策遂行に遅滞が発生
- (3) 不安定な政治体制のもとでは諸外国との信頼関係の構築が困難
- (4) 政党の一体性が欠如
- (5) 政治とカネの問題が政治に対する国民の信頼に悪影響

あるべき政治を実現するために抜本的な政治改革の検討・実施が急務

3. めざすべき政治の姿

- (1) ダイナミックな政策を作り上げる「立案」能力
- (2) 困難な問題であっても国民の理解を得ることができる「説得力」
- (3) 政策を適切なタイミングで迅速に実行できる「判断力・実行力」
- (4) 政策の司令塔の確立

4. 求められる政治改革：日本政治の質的向上が急務

- (1) 選挙制度の抜本的改革
 - ① 衆議院の選挙制度 → 中選挙区制のメリットを改めて評価し、あるべき選挙制度を検討
 - ② 参議院の選挙制度 → 道州制の導入を視野に入れつつ、地域ブロック制や比例代表制の見直しなど
 - ③ 衆参両院における一票の格差の是正、定数の大幅削減
 - ④ 選挙運動におけるインターネットの活用解禁
⇒ 選挙制度審議会を立ち上げるなど、国民的議論を早期に開始すべき
- (2) 立法府改革：衆参ねじれの問題解消が急務
 - ① 根本的改革 → 法案の再議決要件の見直し(2/3⇒1/2)、一院制化の検討
 - ② 当面の改革 → イ) 与野党協議による法案の積極的修正、ロ) 両院協議会の調整機能の発揮、ハ) 法案の会期不継続原則の廃止と国会の通年化、ニ) 国会同意人事の見直し、ホ) 大臣の国会出席義務の緩和
- (3) 政党のガバナンスの強化
 - ① 綱領や基本政策の確立、政策立案能力の強化、意思決定プロセスの明確化などにより、政策本位の政党の活動を強化
 - ② 政党法の制定など政党要件のあり方の法定を検討
- (4) 政治リーダーの登用・育成
 - ① 社会の幅広い分野から有為な人材が政界に登用される制度・環境の整備
 - ② 例えば政治家がグローバル水準の能力を身につけられるコースの公共政策大学院への設置、新人政治家への研修など
- (5) 政治資金問題
企業の政治寄附は、企業の社会貢献の一環として重要
 - ① バランスのとれた政治資金の構造の確立
 - ② 政治資金の透明性向上（政治資金収支報告書公開の仕組みの改善など）
 - ③ 民間寄附の促進策の検討

5. 経済界の行動

- (1) 国益・国民生活の向上に資する政策提言活動を強化
- (2) 経団連の主張と主要政党の政策や活動との比較・評価を実施
- (3) 企業人政治フォーラムを中心に企業人と政治家との対話を一層活発化

おわりに

2013年を「経済・政治同時改革」の年に、強い政治のリーダーシップのもとで、わが国経済の再生を実現すべき。